

生産性
向上越前そばの世界進出を目指して！
生産性向上のため、大企業での経験を有するプロ人材を採用

企業概要

業種	食料品製造業
本社所在地	福井県越前市
創業年	大正14年1月
代表取締役	桶谷三枝子
従業員数	78名

主な事業の内容

- ・そば麵・惣菜等の製造及び販売
- ・「越前そばの里」観光施設の運営（売店、食事処、そば打ち等体験型施設等）
- ・福井と北海道にそば栽培の直営農場を経営

企業の課題・プロフェッショナル人材を採用したきっかけ

業績拡大と繁忙期の残業縮減を実現するため、「越前そば」の長期流通が可能な新商品開発および全自動化製造ラインの増設など生産設備の再構築を計画。しかし、製造ラインの管理・保全に詳しい技術者が不足。

採用したプロフェッショナル人材

氏名	岡本良雄	年齢	65歳
家族構成	妻、長男夫婦、孫3人	還流ルート	その他（県内移動）
出身地	福井県越前市	前居住地	福井県越前市
役職名等	品質管理部		
前職	大手電子部品メーカー、生産技術部に勤務		

経歴

1970年	大手電子部品メーカーに入社
1984年～	シンガポールなどの海外工場でマネージャーとして生産技術支援に従事。
1987年～	生産技術部で、製造ラインの機械設計・改良・保守・点検等に携わる。
2018年	定年退職後、当社に入社



プロフェッショナル人材の声

～新天地での活躍～

品質管理部
岡本 良雄

名産品「越前そば」の製造に、
自分が長年培ってきた生産技術を活かしていきたい



転職に至った経緯

48年間、県内の大手電子部品メーカーに勤務し、定年退職を迎えたあとも、体には自信がありましたので、長年培ったキャリアを活かせる仕事がしたいと考えていました。

前職では、生産技術部で様々な仕事を行っており、自分で機械の改良・設計から、NC旋盤やフライス盤などの機械加工による部品づくりまで、多様な経験を積み重ねてきました。これらの経験を活かせる職場がないかと探していました。

入社を決めた理由

当社が運営する「越前そばの里」には、食事に来たこともあり、見学コースも見たことがあり、非常に馴染みがありました。当社が、最新の自動化設備を導入するための技術人材を探していることを知り、前職で身に付けた技術や経験を活かせるのではと考え、応募しました。

面接では、採用担当者から、「これからは、生産設備にロボット技術等を導入して、生産性向上と労働時間の縮減を両立させていく必要がある。また、今後は技術系の若手人材を育てていくために力を貸してほしい」という熱い思いをお伺いしました。

前職とは全く分野が違いましたが、生産設備という意味では機械の違いはないと思い、入社を決意しました。

プロフェッショナル人材が担当している業務

現在は、現場工程の改善や生産設備の改良を行っており、リードタイムを意識した開発を行っています。今までは機械が故障するまで使用し、機械が止まったら生産も一時ストップするという状態でしたが、生産に影響のないよう、機械の予防保全の考え方を当社に浸透させたいと思っています。

今後は、ロボット等も活用した最新の自動化設備の導入を進めていきます。そして、生産性20%アップを目指し、生産ラインの増設や更新等を行い、作業効率アップのため、生産設備の再構築を図っていく計画です。

また、若手社員の指導・育成にも携わっていきたくと考えています。意欲的な若手社員に生産技術の伝承を行うとともに、電気工事士や保全技能士など、生産に寄与する資格取得にも全力でサポートしていきたくと思っています。

数ヶ月経た今では、社員同士の人間関係も非常によく、働き甲斐のある会社であると感じています。



社長の声

～プロフェッショナル人材の採用の効果～

代表取締役
桶谷 三枝子

**越前そばを世界へ！
半生麺の開発、生産性 20%アップを目指す**



当社では、種まきから収穫、製粉、製麺、販売まで、自社一貫で行う安心・安全のそばづくりを手がけています。当社の「越前そば」は地元ではおなじみの存在で、年越しそばの出荷量は日本トップクラス、美味しさの面でも評価が高く、モンドセレクションにも連続で受賞しています。また、本社併設の直売所「越前そばの里」は、食事処や売店、そば打ち体験工房、工場見学など、年間 40 万人が訪れる人気スポットです。

現在は、生産性 20%アップを目標に、最新の自動化設備の導入、現在の生産設備の改良を行っています。また、当社のメインは生麺ですが、海外進出に向けて、冷蔵でなく常温保存ができ、かつ賞味期限が長い半生麺の新商品開発も行っています。近年では、そばに馴染みのないタイやシンガポールなど東南アジア諸国へ展示会出展を行うなど、そば文化を世界に浸透させていくための啓蒙活動も地道に行っています。

「感動と喜び」を基本理念に、お客様に感動していただくためには、まず社員自身が感動できる会社でなければなりません。そのためにも、自動化設備の導入により作業効率をアップし残業を減らすとともに、働き方改革に取り組み、社員全員が働き甲斐のある、満足できる会社を目指しています。

大手メーカーで長年生産技術を担ってきた岡本には、早速、当社の生産設備を見てもらい、設備の改良・工程改善を進めてもらっています。今までは、会長一人で行っていた機械加工や設備保全も任せることができ、現場も安心して生産を行っています。岡本は、技術力があるだけでなく人柄も非常に良く、他の社員とも上手くコミュニケーションがとれる方であり、今後は後進の育成にも力を注いでほしいと考えています。

今回、プロ人材戦略拠点の訪問をきっかけに、当社の課題解決に最適な人材を採用することができました。



越前そばの生産設備



世界進出のための新商品
試作した半生麺



採用担当者の声

～プロフェッショナル人材採用にあたり 苦勞・工夫した点～

総務部 参与 芹川 智彦
品質管理部 参与 嶋田 卓也

初めてのプロ人材戦略拠点活用により、採用年齢の幅を広げ、期待以上のシニアプロ人材を獲得！



これまで、そば麺製造設備の保全から製造ラインの改良まで、機械系の仕事は会長が一人で行っており、機械や電気系のことが分かる人材が他に一人もいませんでした。プロ人材戦略拠点のマネージャーに訪問いただいた際に、それらの話をしたところ、今後、最新の設備導入を進めるためには、機械や電気に詳しい人材が必要不可欠であると、強く助言いただきました。また、人材紹介会社を利用したことがなく、成約の際の手数料にも戸惑いを覚えていたところ、マネージャーより、「技術系のプロフェッショナル人材は地方に少ないため、人材紹介会社を活用して、全国から求める人材を探さないといけない。」との助言をいただき、プロ人材事業の活用を決めました。

そこで、機械または電気系が分かる技術系人材を募集しましたが、なかなか応募がありませんでした。自動化設備導入が差し迫った中、マネージャーと相談し、年齢の幅を広げたところ、すぐに、岡本を人材紹介会社から紹介いただきました。

岡本は、当社の商品や売店・食事処についてはご存知でした。面接後、工場を見学いただき、当社の社風や職場の環境について紹介してもらったところ、すぐに入社を決めてもらえました。

私としては、長年、大手の電子部品メーカーに勤められていた人が、当社のような地元に密着した中小企業で働いたときに、他の社員と上手くやっていけるか、お会いするまでは少し不安もありましたが、面接の際の印象もよく、非常に物腰の柔らかい方で、この人ならと、採用を決めました。蓋を開けてみれば、岡本は期待以上の人物で、他の社員とも良好な関係を築いています。当社では、70 歳過ぎた方でも働いている者がいます。現在、岡本には、工程改善や設備改良などに取り組んでもらっていますが、今後は当社に技術部を作っていくため、若手社員の中から機械系・電気系の技術者を育てていただき、当社の発展のため力を尽くしてもらえたらと思っています。